

ふ き た さ と 吹田の郷

◆ 発行/すいた市民環境会議 ◆ 代表/小田忠文 ◆ 事務局/〒564-0032 吹田市内本町2-18-8 ☎・FAX 06-6319-0360 小田(午後6時以降)

◆ 年会費/個人会員1000円 法人会員10000円 ◆ 振り込み先/ 00980-3-28845 すいた市民環境会議

受講者募集

すぐに役立つ生活環境講座

身の回りを化学の目で見れば

◆ プラスチックとダイオキシン

講師 加藤俊二 (大阪大学名誉教授/会員)

日 時 10月2日(土) pm1:30~3:00 (受付 pm1:15~)

場 所 女性センター 1F生活科学実験室 (市民会館となり)

参加人数 先着24人

(参加者は不要なペットボトル・プラスチック製品などを持参して下さい)

参加費 300円 (資料代ほか)

申込受付 9月10日(金) から 佐藤 和子 TEL&FAX 06-6387-2096

住 所 吹田市五月が丘西2-17-106

幹事会 お気軽にご参加下さい!

8月21日(土)	pm1:30~4:00	市民会館	9月18日(土)	pm1:30~4:00	市民会館
10月16日(土)	"	"	11月20日(土)	"	"
12月18日(土)	"	"	1月15日(土)	"	"

1999年度幹事・役員紹介

今年度の幹事です。一年間よろしくお願いします。

幹事

秋山 こそえ	浅田 都司男	熱田 克子	池上 慶子	小田 忠文
小田 信子	加藤 俊二	喜田 久美子	木田 祐子	草野 弘靖
黒田 能弘	小室 巧	佐藤 和子	菅原 節子	高島 耕一郎
土志田 新八	中村 小夜子	西尾 熱子	橋本 徹也	平 軍二
松岡 要三	水川 晶子	三輪 信哉	山田 國廣	吉村 哲彦

会長	小田 忠文					
副会長	高島 耕一郎	橋本 徹也				
会計	熱田 克子	喜田 久美子				
会計監査	池上 慶子	土志田 新八				
事務局	秋山 こそえ	小田 信子	小室 巧			
	菅原 節子	平 軍二	中村 小夜子			

〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

《 高川堤防のクロマツ 》

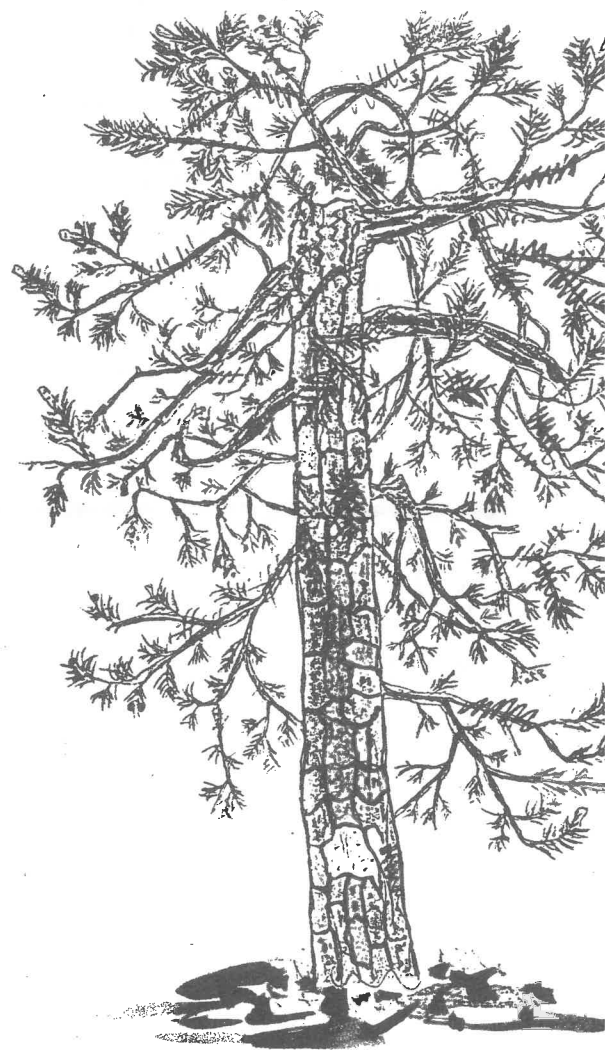
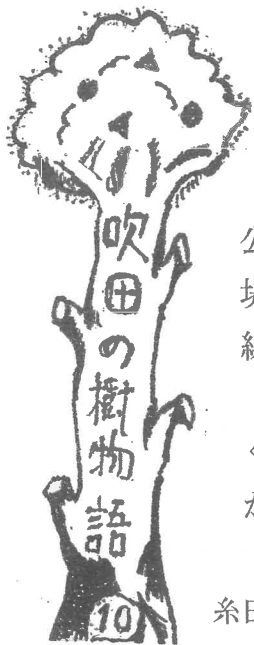
津雲台あたりに水源をもつこの川の、江坂公園墓地から名神高速道路までの約400mの堤防上にマツ、エノキの並木が美しい景観を繰りひろげています。

山地に多いアカマツと比べ、海岸付近に多く植林され（防潮、防風林）樹皮の荒々しさから雄松（オマツ）ともいわれます。

吹田でも垂水神社旧馬場、吉志部神社参道、糸田川堤防のほか千里緑地の一部にも並木が見られますが、一般に松枯病現象で活気がありません。

✍ 浅田 都司男

樹 高 14 m
幹回り 2.03m



~~~~ I S O 14000セミナー ~~~~~

✍ 秋山 こずえ

昨年の吹田商工会議所50周年記念『環境シンポジウム』に続き、今年は『I S O 14000セミナー』へ参加させていただきました。

吹田市内の事業所では、環境マネジメントシステム (ISO14000)を5社が認証取得しているようですが、今回はその中の(株)ダスキン大阪中央工場の『I S O 14000モデル』事例研究を見せていただきました。

ダスキン『I S O 14000』

環境方針 事業を通じて地球環境保全に貢献・実践する内容・10項目

環境影響評価の抽出 従業員全員の“環境3分間スピーチ”から

著しい環境側面 第1次=518 第2次=46 第3次=4項目設定

キックオフから、おおよそ9カ月で認証取得が成されたそうですが、ダスキンの従業員(=働きさん)には、元来『全員で取り組む』という体制ができているようで、私達にもその様子が伝わって来ます。

このように事業全体で取り組んだ結果、エネルギー(電気・灯油)の省力化、排ガス(焼却炉・配送車の燃費)の削減につながったようです。

環境への負荷は少しづつでも、取り除こうという 熱意と姿勢 が大切だと考えさせられた一日でした。

◆ I S Oとは

International Organization for Standardizationとは国際標準化機構の事で、国際的な規格や標準を定めるために設置された機関です。

◆ I S O 14000とは

「環境マネジメント」に関する国際規格で、企業などが企業活動や製品を通じて環境に与える負荷をできるだけ減らすように配慮したシステムの事です。

◎ これは企業だけに止まらず、建設省、郵政省、地方自治体などの行政までが環境I S Oを取得する動きがあります。(5月現在/取得自治体15 検討中92)

◎ I S O 14000Sでは、法的基準を守っているだけでは不足で、もう一歩進んだ企業の自主的な環境問題にたいする取り組みが求められています。

もうすぐ夏休み、 子供たちを真っ黒にさせないで！

紫外線もんだい学習会(99年6月8日)での内容をご報告致します。(木田 祐子)

講師:紫外線教育研究所 柴田英俊氏

●オゾン層が破壊されて有害紫外線が降ってきた。

エアコンや冷蔵庫などに使われた「フロン」という物質により上空のオゾン層が破壊され(昔から降っていた)紫外線A波以外に、有害な紫外線B波が、地上に降り注ぎ始めています。

そもそも、「オゾン層」は私たちの生活にどんな関係があるのでしょうか？

それは・・・生物の誕生以前、オゾン層ができることで有害な紫外線B波、C波が遮断されようやく植物や生物が陸上で暮らせるようになり、そして人類が誕生した、という歴史があります。つまり、「地上の生命はすべてオゾン層に守られて存在している」わけです。

その大切なオゾン層が破壊され、歴史上初めて人間や動植物が紫外線B波を浴びることになっているのが現状なのです。



●紫外線B波を浴びるとどうなるのでしょうか？

- ①皮膚癌になる可能性が上がる→日光角化症やメラノーマ(悪性黒色腫)が増加傾向。
- ②白内障になる可能性があがる→つりやゴルフの好きな方は注意を。反射から25%の影響を受けています。
- ③免疫力がさがる→ハイキングの翌日に寝込むなんてことも！
※人の肌によって紫外線の影響度が違うと言われていますが、「眼」はどの人種も同じように影響があります。

●日本にも有害な紫外線B波は降っている？

98年7月の大阪、晴天時の紫外線指数(平均)は、6.2 → 無防備で日光にあたる限界時間は30分まで(オーストラリア製測定器による)

(他国では紫外線予報が数年前からスタートしている、カナダ、アメリカ、オーストラリアなど)

北半球にもオゾンホール出現の報告があり、日本の東北地方の上空に存在しています。(気象庁)

“オゾンホールは南極のこと”と思われがちですが、フロン放出国の空の方が危ないのは当然のことです。

●どんなことに気を付けたらいいのでしょうか？

- ①「顔」「眼」をできるつばの大きな(7~8cm)帽子をかぶろう。
- ②上や横もカットするサングラスで「眼」を守ろう。ベビーカーの赤ちゃんは特に気を付けて。
- ③季節は4月~9月(特に5月~8月)、時間は10時~15時の野外活動には十分に注意を。
- ④ぬれた肌は紫外線を通しやすいのでUVカット水着を。せめてプールサイドでは日陰に。
- ⑤日焼け止めクリームはSPF値15~30ぐらいを目安に。

※特に小さな子どもは注意。0~10才までに浴びた紫外線量がその子の一生を左右する。

●今後はどうなるのでしょうか？

放出してしまったフロン(約8割)の回収は不可能、まだ放出していないフロン(約1割)は回収を徹底することが必要です。フロンは15年ほどかかって上空に到達するため、今後オゾン層破壊は2010年~2019年がピークの予測です。

オーストラリアなどでは小学校から紫外線教育を実施しています。(シンガポール、台湾、サウジアラビアなどでもスタート)

日本はまだ実施されていないようですが、山梨県、九州地方では市民レベルから少しずつ啓蒙が進みつつあります。

●さいごに・・・

有害な紫外線から自分を守ることも大切ですが、これからの日本を背負う子供たちを守ってほしい。自然と親しんで育つことは大切。必要以上に恐れず、太陽と上手につきあってどんどんアウトドア活動をしてほしい。



(参考図書:「子供と皮膚と太陽」DHC出版 神戸大学医学部皮膚科学 市橋教授)

つばめの思い出

武田 ゆき子

風薫る5月、一年中で一番よい時期というのに、とても悲しいことがありました。4月中頃つばめ調査の用紙が届き、今年もまた観察ができると張り切っていました。早速、昨年調査させていただいた電器店へ行き協力をお願いしました。

「今年は例年より早く4月1日に来ましたよ。」

毎日見に行くのが日課のようになってしまいました。——いつしか日が過ぎ卵を抱くようになると、今度はいつ、ひなが誕生するか心待ちするようになりました。

ある日、親ツバメが餌を運んでいるのです。昨年以上に感動を覚えたひとときでした。

早いものでいつの間にか巣の上に大きな口を開け5羽が一行に並んでいるのです。しかし人が近くにいると警戒して親ツバメはぐるぐる回り、巣には近づくないので、私も遠慮して帰るようにしていました。

5月28日朝“今日はひなをカメラに収めましょう”と店へ行くと、巣の下のボール紙の上が異常に散らかっているのが目に入って来ました。急に胸さわぎがして上を見ると無残にも巣が半分壊され、ひなの姿はありませんでした。

呆然としている私に気づかれ、店の方が飛んで来て「朝、出て来たらカラスにやられていました、今年は飛来が早かったので2度、孵化するのではないかと楽しみにしていた矢先で——口惜しくて口惜しくて」と涙ぐんで話されます。私も目頭が熱くなりました。

親ツバメは電線の上からジット巣の方を見ていましたが、ひながいないと分かってからは姿を見せなくなっていました。

折角、ここまできたのにとすると本当に残念でたまりません。あの愛らしい姿が忘れられません。

お店の方も巣が半分残っただけでは可哀想だと、取られました。

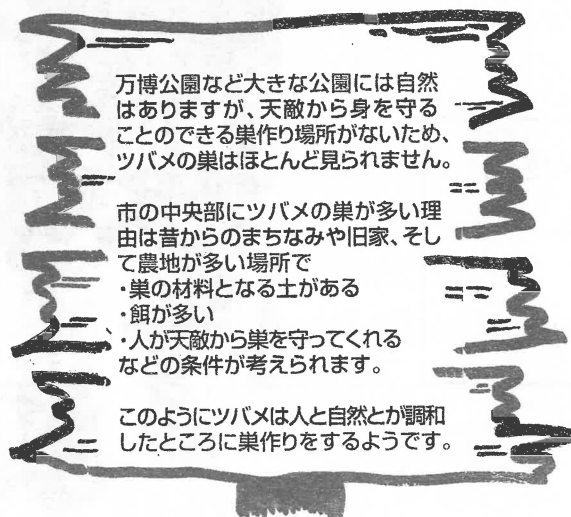
現在調査中のひなが、みんな元気に巣立って行くことを心から願っています。



五月が丘西



岸部南2丁目



万博公園など大きな公園には自然はありますが、天敵から身を守ることでできる巣作り場所がないため、ツバメの巣はほとんど見られません。

市の中央部にツバメの巣が多い理由は昔からのまちなみや旧家、そして農地が多い場所です。
・巣の材料となる土がある
・餌が多い
・人が天敵から巣を守ってくれるなどの条件が考えられます。

このようにツバメは人と自然とが調和したところに巣作りをします。



山田東2丁目

大木と吹田の散策みち

佐井寺みち

◆日時／5月22日(土) 9:30~12:30◆集合場所／阪急バス・佐井寺停車場◆参加人数／18人

感動の佐井寺みち

奥山 悦男

吹田に移り住んでから16年が過ぎ、その間、吹田市内をあちこち歩き回り、かなり知っているつもりでしたが、改めて、身近な自然・歴史の棚卸しをしようと、今回の「佐井寺みち」に参加しました。佐井寺地区は私の家の近所であり、散歩道・初詣に利用し、どんと焼きを見に行ったりして好きな所です。参加してよかったです。いろんなことを知りました。感動しました。佐井寺が山岳仏教の里であったこと。吹田で一番古い民家を知り、修験道をされている茅葺屋根の家の庭に入らせて頂きました。最近、佐井寺地区周辺が区画整理されマンションが林立するニュータウンになってしまいました（私も佐井寺周辺のマンションに住む者ですが）。でも、佐井寺地区には古い民家・神社・寺があり、狭い曲がりくねった坂道が多く、緑が多く、足を踏み入れると、まるで中世にタイムスリップした感じになります。普段の休日は、遠くへ行って自然観察・間伐作業里山作り、吹田市内での体育振興活動をしていいますが、時々、近所を歩き回るのもいいものだと感じました。すいた市民環境会議の会員に最近なっただけで、初めて主催行事に参加しました。これを機会にいろいろ参加させて頂こうと思っております。宜しくお願い致します。

一緒に歩きませんか

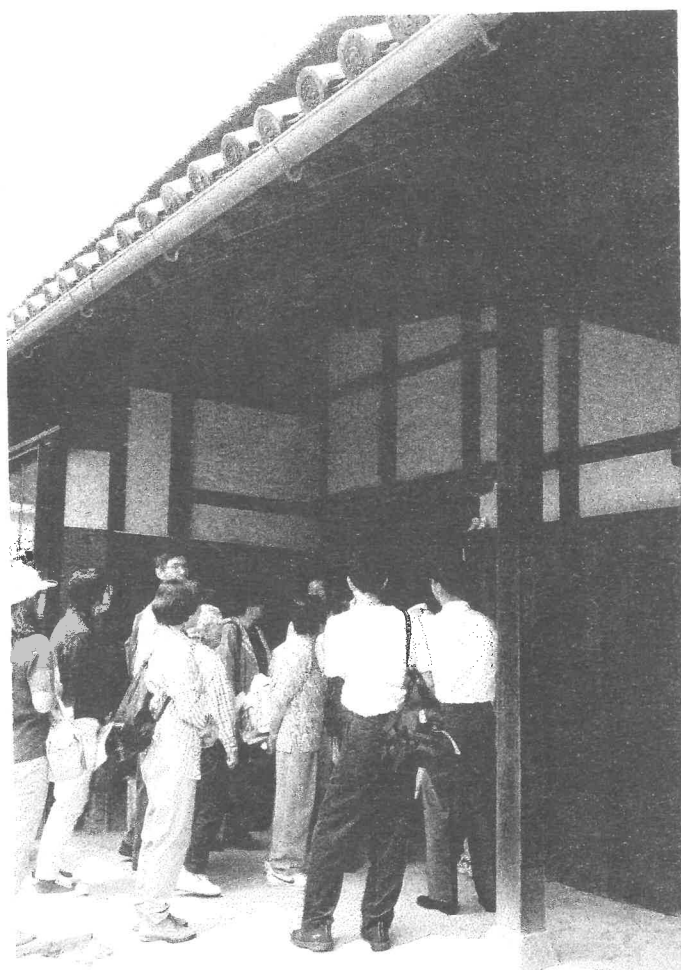
千里山みち

日時／9月25日(土)9:30~12:00

集合場所／阪急・千里山駅改札口

持ち物／水筒

参加費／500円(資料・保険他)





《 吹田市の鳥 no.10 》

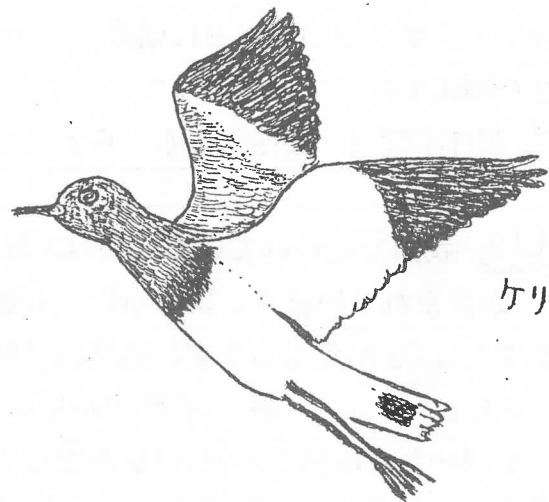
ケリ(鳧)

チドリ科

現在、吹田市内で繁殖＝子育てをしている鳥であるが、繁殖地が特定地域であるため、吹田市の繁殖鳥リストから消えることが確実ともいえる鳥にケリがある。ケリは体長が36cmと大型のチドリで、日本国内では留鳥として本州の中国地方～東北地方で繁殖するが、大阪府内、北摂近郊では淀川～安威川周辺で繁殖している。

ケリは水田のあぜ道や休耕田などの地上に卵を産み、暖めて繁殖する鳥で、地上にいるときは周囲の色と溶けあって見つけにくいのが、飛ぶと大きな声を出すことが多い上、羽の下面に白・黒のコントラストが目立つため、そこにケリのいることが良く分かる。

このケリの吹田市での繁殖地は、今ホットな話題を提供している吹田操作場跡地。遊休化した操作場が巨大な空地となり、カルカヤなどの生い茂る草地となったことから、近くの安威川周辺で生活していたケリが目をつけたらしく、私が通勤途上にケリの繁殖に気がついてからでも5年以上になる。



最近では5番（つがい）以上のケリが操作場跡地で繁殖していると推定され、繁殖期が始まる3月から終了後の7月頃まで、跡地のあちこちで飛びながら鳴くケリの声、朝のJR岸辺駅ホームの電車を待つ時間に楽しんでいる。

ケリは草むらで虫を捕って生活しているが、気の強い鳥で、外敵と思われる人・カラス・野犬などが縄張り（ヒナのいる所など）に近づくと、ケリの名前の由来となっている特有の強い声「キリリ・キリリ」と鳴きながら何回も上空から急降下し襲ってくる。

吹田市内のケリの繁殖ヶ所は上記操作場跡地のみと推定されるが、冬になると安威川（吹田市域）の川原や、時には万博公園でも観察できる。吹田市で**唯一のケリ繁殖地**である操作場跡地は、梅田貨物駅移転を契機に再開発されることになるが、ケリが繁殖できなくなる代償に、賢明な跡地利用計画を確立してほしいと切に思うこのごろである。

99.6.27 平(ヒラ)軍二

酸性雨 天然の雨は大気中の CO_2 を溶かしますので $\text{pH}=5.6$ ぐらいです。これより pH 値の低いものを酸性雨といいます。(中性の水は $\text{pH}=7$)

大気に放出された SO_2 は、やがて硫酸(H_2SO_4)に、 NO_x は硝酸(HNO_3)になり、いずれも雨水に溶け込んで酸性雨の原因になります。時には $\text{pH}=4$ ぐらいの酸性の強い雨や霧が生ずることもあります。酸性雨(霧)は、それがかかった葉を枯らし、土地を酸性にし植物を枯死させます。

北欧では森の半分以上が枯れたり、弱ったりしているそうです。また湖沼が酸性となり魚介類はもちろん、微生物も死滅して、湖に沈んだ枯木が、いつまでも腐らないような湖もあるそうです。

日本では今のところ、ヨーロッパのような酸性雨による、はっきりした被害は大きくありませんが、松枯れなどに間接にかかわっているかもしれません。

また中国では石炭を多用していますので、中国の GNP が上がると、大陸で発生した SO_2 が日本に強い酸性雨をもたらすのではないかと心配されています。

SO_2 我国で使われている原油の大部分はアラビア原油で、それには約3%の硫黄分が含まれています。また石炭にも硫黄分の多いものがあります。これらの燃料を燃やすと SO_2 が発生します。高度成長期に起こった四日市や川崎の大気汚染の主因はこの SO_2 でした。しかし、石油中から硫黄分を除去する脱硫技術が進歩した結果、ガソリンや軽油からはほとんど SO_2 が出なくなりました。

重油からの脱硫は困難ですが、重油は主として火力発電所や大型の炉で使われるので、そのような発生源では排出される煙から SO_2 を除去する装置がつけられているので(排煙脱硫)、今では SO_2 による大気汚染はあまり問題にならなくなりました。

NO_x 窒素(N_2)と酸素(O_2)の混合物である空気を 1000°C 以上に加熱すると窒素酸化物(N_2O 、 NO 、 N_2O_3 、 NO_2 、 N_2O_5 の総称、これを一般に NO_x と書きノックスという)(雷でもできます)。 NO_x は高圧ほどでき易く、エンジン(内燃機)では空気が $1/10$ ぐらいに圧縮された所で点火され 2000°C 以上の高温になるのでかなりの NO_x が発生します。しかし NO_x は低温では不安定になり N_2 と O_2 に分解する傾向がありますから、ガソリンエンジンでは排気ガスを低温になってから分解触媒の中を通して NO_x を除去します。しかしディーゼルエンジンではこれがうまくいきません。

NO_x は、火が燃えれば必ず発生するので、家庭のガスレンジでも少量は発生していますが、現在の発生量の半分ぐらいは自動車、それもディーゼル車(大型車)のようです。この発生源は多数かつ移動しますのでその抑制が困難です。

ヒメボタル調査日記 小田 忠文

ディズニー映画のピーターパンで妖精のティンカーベルが飛びまわると金の砂のような星が降り注ぎます。毎年5月、これが私たちの住む吹田市内で、しかも目の前で見られると言ったら信じますか。

金の砂はヒメボタルなのです。ボタルと言えばゲンジボタルかヘイケボタルで「ヘイケは平家（ひらや）と書くからゲンジより小さいのだ」くらいしか知識のなかった私にとって、それは信じがたい光景でした。

「ボタルは幼虫時代に水の中で貝を食べる」と習った覚えがありますが、それはゲンジとヘイケの話です。

ヒメボタルは陸に生息する貝を食べて育つので、清らかな川がなくても育ちます。

今年も西山田自然観察会・吹田自然観察会・すいた市民環境会議そして地域のみなさんが協力しあってヒメボタル調査を始めました。調査は毎日、同じ時刻に一定のルートを歩いて、何匹光っていたか数えるのです。この調査方法は北摂の各市でボランティアが行っていますが、吹田は他市に比べ群を抜いて多くのヒメボタルが見られることがわかりました。今年5月1日から毎夜、数人から十数人が調査に歩きました。歩く距離は約3キロ。2時間から2時間半の調査です。調査の日記から一部を紹介します。

5/28(金) 昨日、Sさんのほか、Hさんもヒメボタルを撮影していた。Hさんは「満月にヤラレタ」「ASA400では画面が真っ白になった」と今夜はASA100で再挑戦。環境会議のY夫妻が「ここで初めてボタルを見ます」とT氏の解説で散歩。海老池方面にもボタルは出ているが街灯は消えそうにない。

6/11(金) 本日は暦の上の入梅。今夜の調査隊は最高10人、最後は6人。「母は来ました今日もまた・・・」岸壁の母のごとく還らぬボタルを求めて暗闇を探す。ABC地点でかろうじて1匹発見。高野池で千里高校一年生6人が「ボタル出ますか」と尋ねてくる。「ついてくれば2匹は保証する」と言うと、彼らは半信半疑ついてきた。幸運なことに4匹も見ることができた。スゴク感激していた。結局昨日の記録を1匹超えて、10匹。

5/29(土) 土曜日午後7時から日曜日午前0時までヒメボタルの定点観測実施。午後7時35分 最初のヒメボタルが光る。8時40分の140匹を最高に11時まで光っていた。その間Hさんが三回目のボタルの撮影に挑戦。本日の記録は743匹。その間3人が他の場所のヒメボタル調査。数ヶ所で新規のヒメボタル生息地を発見した。

6/14(月) 今年の梅雨はラニーニャ現象の影響なのか降らない。今夜は新月で低い雲がかかっている。「新月で低い雲の夜は真っ暗になる」・・・これはイナカの考え。吹田では、都心の光が低い雲に反射して、月の光はないのに、満月より明るくなるのだ。木々の緑が見えるし、時計の文字盤もはっきりと読める。満月の光でも時計の文字盤は読みづらいのに。街灯が消えていても、「どーってこたない」ほど明るい。ゲートボール場で地元老人会が丹精こめて育てているテッポウユリが一斉に咲き、本来真っ暗な場所なのに明るくて見事。はるかかなたから臭う。昨日は12匹だったが、今夜は・・・ついに・・・2匹。

5/30(日) すいた市民環境会議の総会の後、疲れを知らない人もいよう、今夜も西山田を散策する顔なじみの多かったこと！今夜は511匹と減少が始まったようだ。

5/31(月) 今夜は三人が他地域のヒメボタル調査するが一匹も発見できず。今夜から海老池周辺の4つの街灯が消された。するとヒメボタルは「待ってました」と飛びはじめた。

6/15(火) 8時の時報とともに雨が降りだす。「消灯している街灯は点灯してもらいましょうか」と話をしていると、海老池横の消灯している街灯の真下で、約20センチ離れて、二匹が光って合図しあっている。一同が、見守るなか、二匹の光の合図はその空間的・時間的間隔が短くなる。しかし同時には光らない。必ず、相手の光の後で光る。工事現場の点滅ライトみたいに・・・そしてその間隔がものすごく短く(1秒間に4回くらいかな?) になった次の瞬間!! 『合体!』即・消灯。光りは消えた。つりバカ日誌と同じだ。この『合体』シーンは今年、45日間も観察している我々も目撃するのは2回目の貴重な瞬間であった。まだ街灯は点灯しないほうがいいようだ。結果、14匹も確認された。

6/3(木) 夕方6時半ごろゲートボール場でボヤがあり、竹藪まで数メートルの場所だったので、火が大きくなれば危険だった。通行人が消し止めたそうだ。昨日が77匹と激減したので今夜は50匹以下と思ったが竹藪にまぶしいくらい・・・と言ってはオーバーだが、30~40匹が飛んでいる。「おーい!」と声をかけ、手をたたくと眠っていたボタルが目覚めるように光りだす。おもしろい現象だ。結果は192匹。

6/6(日) 30匹だった。昨日が173匹だったので今度こそ「終わりの始まり」か。タイガースが、そうでないことを祈りたい。5月29日、31日の最盛期にHさんが撮影した写真は朝日新聞タ刊(2日水曜日)より上手に美しく撮れている。今夜の調査に先立ち、午後7時から西山田公民館で地域の人にヒメボタルの説明会があり、40人ほど来られたそうだ。

6/17(木) 屋間は梅雨前線が北に存在したので、30度を超える暑さだったが、午後8時には前線の南下により、冷たい気団に覆われ半袖では寒さを感じた。昨夜は18匹もいたが、この寒さと雨で期待は少なかったが、12匹確認。「カッパえびせん」のように「終わらない、止まらない」調査だ。調査を終えたら案の定、タイガースは負けていた。

6/9(水) 昨日は81匹。今夜は合計12人が調査隊を組み、最高14人になり最後は10人。風が上空のチリを飛ばしてくれ、星空が見事。光の弱ってきたヒメボタルに代わって西の空の金星はゲンジボタルより輝いている。現在の金星はマイナス4.3等星。火星がおとめ座のスピカの北側でマイナス0.8等星で輝く。しし座が西の空に頭から落ちていこうとしている。東の空に夏の王者、白鳥座が、南にはさそり座が大きく見える。ということで、今夜はヒメボタルより星の方が美しかった。来週には街灯は点灯してもらおう。結果は33匹。タイガースは首位。

6/23(水) 梅雨らしい一日。調査隊が出発する頃からは小雨になり、傘をさしたり、たたんだり・・・とうとう、この日を迎えることになった。ン? タイガースの借金生活?・・・ヒメボタルの数がゼロになったのだ。屋間に緑化公園事務所に街灯の点灯をお願いしたが今夜はまだ消えていた。ところで、とうとう借金生活が始まった。まあ、慣れてるけど・・・「巨人よりは上に・・・」セタでの願いは毎年、同じ。

99年度会費納入者 (敬称略) 99.7.15現在

個人会員

松岡 要三	森本 彪	前屋舗弘之	足立俊一郎	中村小夜子	奥山 悦男
出原 正道	伊藤 健一	馬垣 安芳	平野寿美子	佐藤百合子	土生 陽子
北尾賀永子	長谷川美津代	西埜 弥生	筆前 祐子	柴原 恵	阪上 靖子
池崎 罔	清水由紀子	高井 治子	梅原 千鶴	金子 誠一	千代延明憲
小室 巧	古谷 啓伸	菅原 潔	寺西由美子	鈴木たつ江	古屋美千代
大越 好子	本山紀美子	寺尾 恵子	広村 知幸	河面 堯	川口 実
速水 裕子	太田 英子	吉村 哲彦	船瀬 敬子	大隅 光代	小林 勝則

99新会員

後藤寿満子	中尾久美子	南田 順子	梅原 章一	洲崎 美紀	玉森ゆかり
山根 孝	梶川 文代	高田 律子	辻 千代子	八子 博行	西川 哲成
川井 悠子	海原登美子	北村 英一	権野キヨミ	宇都宮政則	

法人会員

(株) 生物分子工学研究所 小儀動物病院 テザック繊維ロープ (株)

すいた市民環境会議の最近の活動

- ◆ ヒメボタル調査・報告会 5/1~7/15
- ◆ 環境教育フェア (主催; 吹田市)
- ◆ ISO14000セミナー (主催; 吹田商工会議所)
- ◆ 吹田ボランティアフェスティバル (主催; 吹田青年会議所)
- ◆ シティーナチュラリスト講座企画検討会 (主催; 吹田市)

環境問題、自然・歴史・文化の保全、創成を考える市民組織

すいた市民環境会議 入会受付中 !

- ◆ 年会費 個人会員1000円/法人会員10000円
- ◆ 振り込み先 00980-3-28845 すいた市民環境会議